

令和5年度第6回理事会議事録

日 時：令和5年9月13日（水）

第6回理事会 18時30分～19時45分

場所：大阪府理学療法士会生涯学習センター事務所

出席者：中川理事長、射場副理事長、井阪副理事長、稲村理事、中野理事、工藤理事、鈴木理事、實光理事、

都留理事、千葉監事、神尾外部監事（大阪府作業療法士会）、黒田外部監事（大阪府言語聴覚士会）、
情報管理局安積局長、生涯学習局田籠局長、教育局本田局長、事務局早瀬局長、角田大会準備
委員長

書 記：早瀬

【議題】

第1 令和5年度第6回理事会議題

1 承認事項

(1) 令和5年度第5回理事会議事録

資料参照の上、承認された。

2 報告事項

(1) 第35回大阪府理学療法学会 大会終了・報告

角田大会準備委員長より報告があった。

本大会における運営上の課題は学術大会部で検討することとなった。

(2) 参加登録の不備に関する再発防止策について

大会長であり学術大会部長の本田部長よりマニュアルの検討結果の報告があった。

(3) 事業進捗状況

各局長より進捗状況の報告を行った。

(4) 3士会の合同研修会 第1回準備会 報告

鈴木理事より3士会合同研修会 第1回準備会の報告があった。

3 審議事項

(1) 認定理学療法士臨床認定カリキュラムの開催方法の変更について

メールにて事前審議し承認いただいている内容の為、追認となった。

(2) グランドデザイン一部修正について

稲村理事より、資料参照の上、説明があり、審議の結果、承認となった。

(3) 挨拶状及び年賀状送付先の選定について

井阪副理事長より、資料参照の上、説明があった。

審議の結果、必須送付先のうち、協会へは会長及び教育推進課担当常務理事（職宛て）を
内規に加えることとし、承認となった。

(4) 文書作成の留意点について

井阪副理事長より、資料参照の上、説明があり、審議の結果、承認となり、

内規に追加することとなった。

- (5) 505 及び 508 事業追加予算の件について
井阪副理事長より、資料参照の上、説明があり、審議の結果、承認となった。
- (6) 研修理学療法教育部の追加部員の件
都留理事より、資料参照の上、説明があり、審議の結果、承認となった。
- (7) 講習会定員の設定について
中野理事より、資料参照の上、説明があり、審議の結果、定員の上限を設定することが承認となった。収入・支出の管理については、行わないこととなった。
- (8) 学術誌編集部 部員 1 名の追加について (欠員分)
鈴木理事より、資料参照の上、説明があり、審議の結果、承認となった。
- (9) 査読委員会 委員の承認及び方向性について
鈴木理事より、資料参照の上、説明があり、審議の結果、承認となった。
- (10) 次年度の認定理学療法士臨床認定カリキュラムの開催内容について
理事より、資料参照の上、説明があり、審議の結果、承認となった。

4 その他

井阪副理事長より、拡大会議の開催に、各部局で報告事項があれば事務局まで報告をお願いした。

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	都留 貴志	職名	教育局担当理事
議題	第35回大阪府理学療法学会報告について		
内容及び 提出趣旨	7月2日に開催されました第35回大阪府理学療法学会について、準備委員より開催報告ならびに収支報告をさせていただきます。		
	添付資料（ファイル名）	学術大会終了報告書 35thCOPT 収支報告書	
理事会での 意見・内容等	角田大会準備委員長より報告。2031名の参加者があった。協賛企業について「探究心を育む」という大会テーマのもと18社から協賛を得た。大会日程について、他学会日程と重複しており、演題募集や参加募集、講演の企画に大きく影響を与えるものであった。 準備委員会の発足時期について早めることが望ましいこと、参加登録者への連絡がキャリアメール・Gamilに届かなかったこと、問い合わせについて窓口を一本化する必要性などについて報告があった。 また、今回演題発表者の参加登録不備があり、想定される再発防止策について、本田大会長より報告があった。収支報告について、収入8,540,893 支出8,540,893 一般会計2,456,281 収入が多い形となった。		
備考			
	対応部局または理事氏名	学術大会部	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	本田 憲胤		職名	学術大会部部长
議題	参加登録の不備に関する再発防止策について			
内容及び提出趣旨	<p>35回学会では参加登録をせずに発表を行った演者が2名いた。継続して開催していく学会において、参加登録の不備が無くなるよう再発防止策を考案したので報告する。</p> <p>原因分析</p> <p>A) 事前参加登録の必要性および登録枠の周知不足の可能性 演者だけでなく、座長※、優秀演題賞受賞者、参加者においても、事前参加できていなかった方や、登録枠を間違えた方が複数いたことから、事前の周知が不足していた可能性が考えられる。 ※自己申告があり座長を務めたうえでポイント申請を辞退された</p> <p>B) 事前参加登録の有無の確認フローがないこと ポイントが関係する演者、座長については、事前に参加登録ができているかのモニタリングが必要であったと考えられる。実際に、演者・座長受付では参加登録の有無は自己申告でしか判断できない状況であった。</p> <p>再発防止策の提案</p> <p>A) 事前参加登録の必要性および登録枠の周知徹底（01-02_manual を作成） ・参加登録を促す際に事前参加登録の必要性や登録枠の説明を加える（IT 運営局）</p> <p>B) 事前参加登録締め切り前の確認の実施（01-02_manual を作成） ・座長と演者の参加登録状況の事前確認（学術局） ・受付係への申し送り（学術局→運営局）</p> <p>添付資料（ファイル名） (2023.8版)大阪学会ロードマップ_抜粋 01-02_manual_事前参加登録の必要性の周知徹底_0831_更新 2023_参加登録の不備に関する再発防止策_20230831_final</p>			
理事会での意見・内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・名札の自己印刷のシステムを例に挙げ、効率性を高める目的で運用を変えるときはリスク面の検討をお願いしたい。 ・予算的に可能ならシステムの外部委託も検討してほしい。ただし、会員の求心力が低下するリスクがあることは十分理解しておくこと。 ・次期大会長だけでなく準備委員長も運営委員に入るルール作り 上記の意見を学術大会部で検討となる。 			
備考	対応部局または理事氏名 学術大会部部长 本田 憲胤			

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	鈴木俊明		職名	理事（生涯学習局担当）
議題	3士会合同研修会 第1回準備会 報告			
内容及び 提出趣旨	<p>令和5年8月23日（水）午後7時～8時 ZOOMにて3士会合同研修会 第1回準備会を開催いたしました。</p> <p>参加者 外部監事 神尾昭宏 氏（大阪府作業療法士会） 黒田健司 氏（大阪府言語聴覚士会） 生涯学習局 工藤理事、鈴木理事、中野理事、田籠局長、東藤副部長</p> <p>第1回準備会のまとめ 1 3士会合同しての学術内容での研修会の実施には合意が得られた。 2 3士会が協賛して開催するために解決しなければいけない問題点が提案された。 3 各士会で3名のワーキンググループのメンバーをあげて、具体的な内容の検討はワーキンググループにてお願いすることとした。</p>			
理事会での 意見・内容等	<p>次年度に合同研修会を森ノ宮医療大学で開催予定となった。 各大阪府士会で2名から3名の小委員会を作り進めていくこととなった。 センターは東藤副部長が中心となり活動することとなった。 作業療法士会、言語聴覚士会の理事会で小委員会の立ち上げは承認されたとの報告が神尾監事、黒田監事から報告があった。 学術大会の要素だけでなく、府民公開講座の企画も検討してほしい 作業療法士会の神尾監事、言語長下記士会の黒田監事が出席される理事会で本委員会の経過報告をしていくこととなった。</p>			
備考	対応部局または理事氏名		生涯学習局 鈴木俊明	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	鈴木俊明	職名	理事
議題	認定理学療法士臨床認定カリキュラムの開催方法の変更について		
内容及び 提出趣旨	令和5年度認定理学療法士臨床認定カリキュラムの参加人数が「運動器5名、脳卒中1名（8月1日現在）」である現状から開催方法を以下のように変更いたします。 1 申し込み締切日を8月18日（金）から9月15日（金）に延長する。 2 申し込み締切日の延長に伴い必須項目のオンデマンド配信期間を現状の「9月1日～10月28日」より「10月1日～12月1日」に変更する。 3 10月29日（日）四條畷学園大学で実施予定の対面研修（選択項目）は対面オンラインで開催する。		
	添付資料（ファイル名）		
理事会での 意見・内容等	MLで承認を得ているため、審議は行わずそのまま承認となった。		
審議結果	承認		
備考			
	対応部局または理事氏名	生涯学習局 理事 鈴木俊明	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	稲村 一浩		職名	事務局担当理事
議題	グランドデザイン一部修正について			
内容及び提出趣旨	<p>・事務局のグランドデザインにおいて、分担金0%となり運営することが、先の合同理事会でも承認されましたので、修正が必要かと考えます。</p> <p>・生涯学習局のグランドデザインでは、研修部で3士会合同研修会の追加、その他の事業では運営方法の若干の変更があり修正させていただきたいと考えます。</p> <p>・臨床実習教育部のグランドデザインにおいて、これまでは認定臨床教育者制度が仮の名称で記載（臨床教育指導士制度）されておりました。また、制度設計も初級と上級の2段階構成になっておりましたが、認定臨床教育者制度ではBasicコース・Advanceコース・Masterコースの3段階構成となっておりますので一部文言の修正が必要と考えます。</p> <p>グランドデザインの一部文言の修正についてご承認の程宜しくお願い申し上げます。</p>			
	添付資料（ファイル名）	グランドデザイン（修正）		
理事会での意見・内容等	一部誤字の訂正があったが、提出した修正案で審議の結果、承認となった。			
審議結果	承認			
備考				
	対応部局または理事氏名	稲村 一浩		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	稲村 一浩	職名	事務局担当理事
議題	挨拶状及び年賀状送付先の選定について		
内容及び 提出趣旨	<p>標題の件につきまして、毎年対象者の選定に時間を要するため、一定のルールに基づいて作業を進めたいと考えます。新たに内規に追加したいと思います。 ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>		
	添付資料（ファイル名）	Word(挨拶状及び年賀状送付先の選定について)	
理事会での 意見・内容等	井阪副理事長より、資料参照の上、説明があった。審議の結果、教育推進課担当常務理事(職宛て)を必須送付先として内規へ追加することとなった。		
審議結果	承認		
備考			
	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	稲村 一浩		職名	事務局担当理事
議題	文書作成の留意点について			
内容及び 提出趣旨	<p>センター発信の対外文書、総会資料及び議事録等について書き表し方のルールがないため、内規として文書作成時の留意点をまとめました。内規集に追加することについてご審議のほどお願い致します。</p>			
	添付資料（ファイル名）	Word 資料(文書作成の留意点について)		
理事会での 意見・内容等	井阪副理事長より、資料参照の上、説明があり、審議の結果、承認となり、内規に追加することとなった。			
審議結果	承認			
備考				
	対応部局または理事氏名			

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	稲村 一浩	職名	事務局担当理事
議題	505 及び 508 事業追加予算の件について		
内容及び 提出趣旨	<p>【505 事業(センター運営の支援)】 財務部から、本年度 505 事業予算 1,493,000 円のうち現時点(7月20日締め)の支出が 1,296,571 円となり残金 196,429 円のため後期の事業に発生する支払いが出来ない状態との報告があった。 背景には一昨年事業収益に対する租税公課分が未計上であった事、R4年度研修会事業等の収益増加に伴い租税公課(消費税・地方消費税)が 647,900 円(昨年度 221,400 円)に増額したこと、副賞の増額 150,000 円(予算 100,000 円)が原因である。 505 事業は予備費として 300,000 円を計上しているが発生した租税公課分はカバーできないため、追加予算として租税公課分 647,900 円分の追加を承認いただきたい。</p> <p>【508 事業(財務管理に関する事業)】 R5年度事業として新たに6つの特別委員会の設置されたことに伴い会議費及び旅費交通費の追加予算 300,000 円をお願いしたい。 5つの特別委員会合計 36名×4回×800円+旅費交通費 36名×4回×800円+α) 特別委員会は常設事業でないため、予算は財務部 508 事業の扱いとする。</p> <p>505 事業及び 508 事業の追加予算について審議をお願いします。</p>		
	添付資料(ファイル名)		
理事会での 意見・内容等	<p>千葉監事より、現行の予算で行うことが望ましいが、事業として開始しており今回は止むを得ない事象として、承認を得た。 3 士会合同委員会は継続事業として来年度事業計画案作成となった。 他の特別委員会は期間限定の委員会のため、財務部の 508 事業として来年度事業計画として作成することとなる。 消費税の税金は 505 事業として来年度からは事業計画に入れること確認した</p>		
審議結果	承認		
備考			
	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	都留 貴志		職名	教育局担当理事
議題	研修理学療法教育部の追加部員の件			
内容及び 提出趣旨	<p>先月の理事会で部員の承認をしていただきましたが、研修理学療法教育部では支部部員（南支部）が1名欠員の状態でした。この度、平勝秀氏（会員番：10060241、所属施設：葛城病院）に部員を承諾していただきましたのでご承認いただきますよう宜しくお願い申し上げます。なお、会費の納入確認済み、大阪府士会の役員・部員との兼任にも、該当がないことを申し添え致します。</p>			
	添付資料（ファイル名）			
理事会での 意見・内容等	追加部員の確認がなされた。			
審議結果	承認			
備考				
	対応部局または理事氏名			

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	中野治郎	職名	生涯学習局理事
議題	講習会定員の設定について		
内容及び 提出趣旨	<p>(提出趣旨)</p> <p>現在、講習会の定員設定は主催者任意であり、支出に見合う収入が得られるよう定員を設定し、支出／収入が100%であるのが原則である。</p> <p>講習会が理事会で認められた後、主催者は講習会の情報をマイページに登録するが、その時の用紙では定員が申請時よりも多く設定されていることがしばしばある。</p> <p>現在のところ、厳しくは指導していないが、対面の場合は人数が多くなると指導が薄くなるのではという声も聞く。オンライン開催の場合はその問題はなく無制限に拡大することが可能であるが、講習会が黒字となった時の余った収入の管理は、現在はなされていない。</p> <p>定員設定のルールを設定するか、または余った予算の管理方法を規定するかいずれかの対処が必要と思われ、方針を審議していただきたい。</p> <p>案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員は申請時と同じでマイページに登録する。 ・変更する場合は申請書を再提出する。 ・定員上限を設定する。例) 対面 50名, オンライン 100名。 <p style="text-align: right;">添付資料：あり</p>		
	添付資料 (ファイル名)	理学療法士講習会 申請書と登録書 (抜粋) 理学療法士講習会採択規定	
理事会での 意見・内容等	中野理事より、資料参照の上、説明があり、審議の結果、定員の上限を設定することが承認となった。収入・支出の管理については、現状では支出項目の必要度など把握できないことが多いため行わないこととなった。		
備考			
	対応部局または理事氏名	中野治郎	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	鈴木 俊明	職名	理事
議題	学術誌編集部 部員1名の追加について（欠員分）		
内容及び 提出趣旨	令和5年度第5回理事会にて学術誌編集部の部員10名（予定部員数11名）を承認いただきましたが、今回、欠員1名分として、赤口 諒氏をご承認いただきたく存じます。 （資料 学術誌編集部部員 参照）		
	添付資料（ファイル名）	学術誌編集部 部員	
理事会での 意見・内容等	追加部員の確認		
審議結果	承認		
備考			
	対応部局または理事氏名	生涯学習局 理事 鈴木俊明	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	鈴木 俊明	職名	査読委員会 委員長
議題	査読委員会 委員の承認及び方向性について		
内容及び 提出趣旨	<p>令和5年度第5回理事会にて査読委員会は委員長のみ承認いただきましたが、今回委員として、学術誌編集部より文野住文氏（部長）、福島卓矢氏（副部長）、青木 修氏（部員）をお願いしたい。</p> <p>また、査読委員会の方向性としては、専門理学療法士、認定理学療法士の有している大阪府理学療法士会員を対象として、査読者グループのメンバーになっていただけるか否かのアンケート調査を実施し、査読者グループを確定していきたい。</p> <p>今後は査読者グループの方々に協力いただき、雑誌、学術大会の査読ができる体制を整えていきたい。</p> <p>（資料 査読委員会 委員 参照）</p>		
	添付資料（ファイル名）	査読委員会 委員	
理事会での 意見・内容等	<p>学術誌編集部に関する査読だけでなく、学術大会の演題査読に関しても査読委員の評価が必要であることが意見として出ている。</p> <p>査読者は府士会員に限定せず、近畿・全国から選定をお願いしたい。</p>		
審議結果	承認		
備考			
	対応部局または理事氏名	査読委員会 委員長 鈴木俊明	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	鈴木俊明	職名	理事
議題	次年度の認定理学療法士臨床認定カリキュラムの開催内容について		
内容及び 提出趣旨	<p>今年度の認定理学療法士臨床認定カリキュラムは、運動器、脳卒中の2つのカリキュラムを実施いたします。しかし、今年度の申込み者数（運動器13名、脳卒中3名：9月2日現在）から考えて、次年度からは脳卒中の臨床認定カリキュラムは実施しないことにいたします。そこで、新規で 循環の臨床認定カリキュラムを実施したいと考えております。循環を選択した理由は、全国的に開催されていないマイナーな領域であることと、大阪府理学療法士会の会員で開催できることです。</p> <p>次年度の認定理学療法士臨床認定カリキュラムは、運動器、循環の2領域とする。開催形式は、全国の協会員が参加できるように全てオンライン形式(必須項目：オンデマンド配信、選択項目：Zoom ウェビナー)といたします。理学療法士協会への申請書類は別紙の通りであります。マイナー領域であるが故に未だ講師選定が間に合っておりません。講師選定に関しましては、オンライン開催という強みもありますため、センター役員からの選抜、大阪府PTからの選抜、全国PTからの選抜と3段階の防御網で、いずれかの形で講師選定は補完可能と考えております。</p>		
	添付資料	申請書類（認定申請書、様式1-6） 大阪府士会会員での講師候補者	
理事会での 意見・内容等	<p>鈴木理事より追加として、新規分野については徐々に増やしていく方針であるとの報告があった。また工藤理事より、認定カリキュラムについて、ハンズオンセミナーや研修期間の延長について検討していくべきではないかとの意見があった。</p> <p>マイナーな領域の研修会を行うことが公的なセンターの役割であるが、運営の財務的な問題もあり、講師料の検討も必要である意見があった。</p> <p>9月30日が申請締め切りのため、講師メンバーの選定はメールで承認となった。</p>		
審議結果	承認		
備考			
	対応部局または理事氏名	生涯学習局 理事 鈴木俊明	